

高須山山麓 - 棚田・周辺の森林 -



斜面に広がる棚田



森に囲まれた棚田

選 定 理 由 ・県レッドデータブック掲載種（県RDB種）が多種確認されている

県レッドデータブック掲載種数： 13種（面積約130ha）

自然の概要

山の急斜面に存在する棚田と集落で、集落周辺には畑や水田が開かれ、これを取り囲むように背の高い林が存在しています。この良好な環境を利用してサシバ、アオバズク、サンコウチョウなどが生息しています。また、山ぎわの水田や休耕田にはシャジクモなどの水生植物が生息しています。

保全すべき主な環境

山田（棚田）、巨木林（集落周辺の背の高い林）

該当地の位置



里の生き物紹介 サシバ（タカ目タカ科）

全長49cm、カラスくらい大きさのタカの仲間です。色はトビよりも白っぽい色をしています。県内には4月中旬から10月の間に夏鳥としてやってきて子育てをし、冬は東南アジアですごします。

森の中に巣を作って子どもを育てますが、餌は、カエル、ヘビ、トカゲ、ネズミ、モグラ、バッタなどで、森と畑、森と水田など、森の境界部分に移動して探します。

県内のほぼ全域で見られますが、最近では、水路のコンクリート化、農薬の使用など、餌になる小動物が少なくなっているため、繁殖成功率の減少が心配されています。

保全すべき環境に生息・生育している生物



シャジクモ
県域絶滅危惧 類
湖沼、溝、水田、川に生育



アオバズク
県域絶滅危惧 類
大径木林などに夏鳥として渡来し、主に樹洞を利用して繁殖



アカショウビン
県域準絶滅危惧
深山の溪流沿いの広葉樹林に生息



サシバ
県域準絶滅危惧
森林と農耕地が点在する里山に生息



サンコウチョウ
県域準絶滅危惧
大径木の社寺林、スギ林、落葉広葉樹林に生息